

平成 21 年 2 月 16 日

会社名 アンジェス MG 株式会社  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問い合わせ先 経営企画部長 林 毅俊  
電話番号 03-5730-2480

### Vical 社の Allovectin-7®の第Ⅲ相臨床試験の進捗状況について

当社は、米国 Vical, Inc. (以下、Vical 社) が 2 月 11 日付で公表したプレスリリースに基づいて、同社の進行期メラノーマを対象とする Allovectin-7®の第Ⅲ相臨床試験の進捗状況を以下の通りお知らせいたします。

Vical 社は、進行期(StageⅢもしくはⅣ)メラノーマを対象とする目標症例数 375 例の第Ⅲ相臨床試験(AIMM(Allovectin-7 Immunotherapeutic for Metastatic Melanoma)試験)を実施していますが、同社は、同試験の症例登録を 2009 年末までに完了することを見込んでいます。

Vical 社の President and CEO の Vijay B.Samant 氏は、次の通りコメントしています。「我々は、治験実施施設を北米から西欧、東欧、イスラエルに広げ、さらに最近、提携先の Eczacibasi 社の協力の下でトルコにも拡大しつつあり、症例登録において大きく前進しています。症例登録完了に向け、今後数ヶ月間において、我々は、米国及びカナダの施設を含め世界で 100 以上の治験施設を稼働する予定です。これまでの地域における症例登録の実績に基づき、我々は、本年末までに第Ⅲ相臨床試験の症例登録を完了することに自信を持っています。」

当社は、2006 年 5 月 30 日付公表資料の通り、Vical 社との間において Allovectin-7®の第Ⅲ相臨床試験に関する研究開発契約及び出資契約を締結しています。これらの契約に基づき、当社は Vical 社の同試験に充当する資金として総額 22.6 百万ドル(開発協力金及び同社に対する株式投資として)を支払う義務がありますが、本年 2 月迄に 17.6 百万ドルを既に支払いました。残金については、同試験の進捗に沿って本年度中に開発協力金として全て支払う予定です(2 月 6 日付で公表した業績予想にはその影響を既に織り込んでおります)。

一方、同試験に対する開発協力金の対価として、当社は、Allovectin-7®の日本及びアジア地域の主要国での独占的販売権を保有する他、米国及び欧州の売上高に対するロイヤリティを受取る権利を保有しています。Allovectin-7®の米国及び欧州の売上高に応じたロイヤリティ収入については、虚血性疾患治療剤「コラテジェン」(HGF 遺伝子治療薬)からの収入と同様に、当社の損益改善及び黒字化に大いに寄与すると期待しており、当社は、Vical 社から報告された今回の同試験の進捗に勇気付けられると共に、同プロジェクトの今後のさらなる進捗を期待しております。

<会社概要>

社名 :Vical Inc.

所在地 :10390 Pacific Center Court, SanDiego, CA 92121,USA

代表者 :President and CEO Vijay B.Samant

設立 :1987 年

従業員数 :118 名 (2008 年 12 月末現在)

事業内容 :非ウイルス系の遺伝子投与技術に基づくバイオ医薬品の研究開発  
(感染症や癌に対する DNA ワクチンの開発などを含む)

以上